

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第51回】

「こんぴら子ども塾」～ 世代を超えた交流の中で豊かな体験を ～

香川県琴平町立琴平小学校長 秀石 通子

本校は、「さぬきのこんぴらさん」で親しまれる信仰と観光の町、琴平町に位置しており、子どもたちは、歴史的・文化的景観や豊かな自然の中で学びのびと育っています。

本校では、平成16年度から「放課後子ども教室」である「こんぴら子ども塾」が開かれ、今では、「サッカー」「ソフトテニス」などスポーツ活動が5講座、「科学工作」「お話し会」「銭太鼓」「町歩き」「茶道」など文化活動が約13講座と計20講座ほどが開講されています。毎週水曜日の15時15分から1時間、本校の教室や体育館、運動場で活動しております。中には、夏休みなど長期休業中に集中しているものもありますし、町内3小学校合同の活動もあります。

指導して下さるボランティアの方々には総数110名で、コーディネーターが1名、安全管理員が5名と非常に多くの方々に関わってくださっています。子どもたちも全校生の6割強が参加しており、さらに、活動補助として大学生や高校生の参加もあり、世代を超えた交流の中で豊かな体験が行われております。「銭太鼓」や「茶道」の講座のように、活動の成果を町内の各行事の場で披露することもあります。

このように様々な体験を通して、子どもたちは、

「私は1年生の頃から子ども塾に参加していますが、茶道やサッカーなどいろいろな体験ができて、マナーやルールが身につきます。」「先生がみんな優しく、子ども塾が大好きです。とても楽しいです。」などと、子ども塾を楽しみにし、来年も続けたいという思いを強く持っています。

年度の終わりには、お世話になった方々を学習発表会や卒業式にお招きしたり、お礼の手紙を書いたりして感謝の心を伝えるとともに、交流の場としています。

私たちが地域の方々に心より感謝しつつ、日々の教育活動に邁進しております。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第169号に掲載）